

## ライフサイエンス事業・その他事業

### 事業概況

#### 売上収益

**429** 億円  
 ⬆️ +12.5%

- グループ会社のKBI Biopharma, Inc. (KBI) の販売数量拡大に加え、診断試薬材料の売上収益を伸ばしたことにより、売上収益は前期を上回りました。
- 一方、営業利益は、ライフサイエンス事業の今後の事業拡大に向けた先行設備投資の増加などがあり、前期並みとなりました。

### 第3の柱としてのライフサイエンス事業

JSRグループの事業の第3の柱として規模を拡大してきたライフサイエンス事業は、抗体医薬品の創薬から製造まで一貫してプロセスを支援できる体制を構築いたしました。既にグループの一員となっているKBI Biopharma, Inc. (KBI)と(株)医学生物学研究所 (MBL)に加え、抗体の効率的な培養に用いる細胞株を短期間で構築できる技術を有するスイスのSelexis SAと臨床試験前段階において創薬支援サービスを提供している米国のCrown Bioscience Internationalを買収しました。これにより、抗体医薬品の創薬から製造まで一貫してプロセスを支援できる体制を構築しました。ライフサイエンス系グループ企業が一体となってバイオ医薬品の創薬支援事業を拡大展開し、抗体医薬品の創薬プロセスにおける成功確率の向上や開発期間短縮につながるサービスを提供していきます。

KBIでは、商業用製造の需要に対応するための設備増強が2017年末に完了し、順次稼働を開始しています。欧州での分析サービスもJSR Micro NV敷地内に拠点を置いて2018年前半から開始しました。また、精製用担体Amsphere® (アムスフェア) A3は採用が拡大し、今後も需要の伸びが期待できるため、NVIに製造設備を新設して2018年中頃より商業生産を開始しました。

さらには、慶應義塾大学および大学病院との共同研究施設として立ち上がったJSR・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター (JKIC)において、産学共同で新たな医療分野の展開を支える革新的な材料や製品の開発に取り組み、将来にわたってライフサイエンス事業の拡大を進めていきます。

新たな治療の開発プロセス全体にわたって、製薬企業、バイオテック、アカデミアに対して、革新的なサービス、製品や材料を提供していきます。

